

最後に-T5上映会の感想&まとめ

せんだいメディアテーク/小川直人

いろんなところでいろんな映画が作られているのだなあ、感心したり安心したり呆れたり(笑)しました。
なにが映画かはさておいて、表現するということは、「伝えたいこと」と「伝える方法」がうまく組み合わされて成り立つものですが、やはり表現するからには相手に何かを伝えたい、言及の裏返のように、向こうの言及を直接叩いたり指したりしないで「波動」が伝わって揺動するような表現が生まれていくとおもしろい。もちろん、向こうの言及の裏も波動に反応できるような体にならないといけません。

リアスフィルム/きしなみきよふみ

今回参加して下さった皆様、まずは御礼申し上げます。リアスフィルム企画の東北五県での上映イベントを昨年度行って気付いた2~3の事があります。その1つは、こちらの映像作家の多くが「東京の事は知っているのに、身近なところで行われている活動には興味がない(or知りたくない?)」ということでした。私は、正真正正「作家同士が交流を持たなくてはいけない」などと人に強制するの、されるのも嫌ですし必要無いと思っています。しかし、「物を作る」ためには、クリアしなければいけない問題が多々あり、それは往々にして地方ゆえ・アマチュアゆえの苦勞だったりします。それを他の人間がどうやってクリアしているのか、クリアした作品がどのような作品なのかを知ることは、作品を作る上で必要不可欠なことだと思っています。「各県持ち時間50分」は、普通に作品を1本上映しても埋まる時間ですが、上記の意味で、作品だけでなく、各県のイベント映像や予告集が上映できた事は良かったと思いました。
せっかくの機会に宣伝や当日の対応で不十分な部分があったことをスタッフとして、何よりもまず深く反省したいと思います。
御参加/御協力いただきました皆様、本当に有り難うございました!

仙台シネアスト代表/阿部 勇

今回の「5県合同上映会・座談会」を行って、上映担当をした側の反省と感想ですが、上映については反省点がいくつかありました。
まず、事前にテープの確認を行う時間がとれず上映に支障が出てしまったこと、上映中に機材操作の不手際で観客の方にご迷惑を掛けてしまったこと。これについては本当に申し訳ありませんでした。今回は作品の多さから10:00~15:00、15:00~20:00の各2回上映スケジュールだったのですが、これは観るのにつらい時間調整だったような感じがします。
1日で行うには各県1作で行っていた方が、観客の方にとっても良かったのではないかと、そうすればもっと多くの人に観てもらえたのではと上映会が実際に終わって思いました。もし、またこのような上映会を行うとしたら、無理のないスケジュールを心がけたいです。
上映会側の仙台シネアストのスタッフは、座談会は合同に覗いてみることにしかできなかったのですが、そこには熱い雰囲気があって、上映作品関係者の方はもちろん、当日観に来ていただいた方も発言されていたようで、有意義なものとなったようです。
残念だったのは、宮城作品の関係者がほとんど参加できていなかった状況です。僕自身は作る側の人間ではないので見当違いの意見かもしれませんが、一般の商業映画に響くことも大切ですが、制作環境の近い人たちの作品からも楽しみだったり学べることはあると思うのです。
今回の上映会は、新しい「インディーズフィルムシアター」の最初の上映会だったわけですが、今後はほぼ毎月インディーズ作品の上映会を行っていきます。大学サークル制作の上映会、全国のインディーズ作品上映会、インディーズではないレア作品上映会を予定しています。
この上映会を、多くの人にまずは知ってもらうことが第一、実際に観に来てもらうことが第二、観に来た人が友人知人を連れて来てくれることを第三の目標でやっていきたいと思っています。

■T5に関わって下さった皆様、本当に有り難うございました。次回があれば(笑)これからもどうぞよろしくお願いたします。

NEW GARAGE MOVIE FOR THIS CITY →

インディーズムービー INDIE'S MOVIE

from
RIASFILM

2004 合併号

6/7

T5イベント特集号



特集/東北5県合同上映会 & 東北映像製作会議レポート

青森・岩手・山形・宮城・福島の映像作家&団体が集合!
仙台の映像制作者も参加のイベントのレポートを完全記録!



▲当日の座談会の模様。各県の作家が熱く語る。

・去る5月7日に行われた東北5県合同上映会&座談会(T5)は、色々とお悩みを残しつつ終了しました。
・青森、岩手、秋田、宮城、福島の5県の映像作家が作品を持ち寄って、さらに座談会で意見をぶつけあおうというこの大変な企画。リアスフィルムで昨年度1年間行ってきた、東北各県を全国の各作インディーズ映画を同プログラムで上映会を行う「インディーズムービー・ステーション」のまとめた意味合いもかねて企画されました。

・仙台シネアスト・AOGPの両団体の協力をいただいで、「インディーズフィルムシアター」の企画の一つとして開催された上映会でしたが、とにかく色々な波瀾が(笑)

・当日のスケジュールは、午前10時開始で各県持ち時間50分の枠で各々自由にセレクトした作品を上映。10分の休憩を挟んで5件の作品群を夕方7時まで順繰りに2サイクル上映するというヘビーローテーション状態。大変なさわざでした(笑)
上映担当のシネアスト代表の阿部さんが「勘弁ですなえ」と呟いていたのが印象的でした。本当におつかれさまでした。来場約50名と少なめでしたが、沢山アンケートを頂きました。

・同時進行で午後1時30分から会議室で各県の作家さん達が集合しての座談会がはじまりました。完全に同時進行なので、座談会に参加したい方で上映作品も観たいと言う方は、朝から晩までメディアテークに缶詰になっていたんじゃないかという状態。これもまたある意味凄い(笑)

座談会は第1部が作品発表/イベントについて、休憩を挟んで第2部が作品制作についてという内容。どうなるだろうと懸念された内容ですが、4時間以上にわたって熱い討論が繰り広げられました。こちらは、そのうちビデオ化して、メディアテークの方に置かせていただこうと思っています。(文責/きしなみ)
・では、まずは上映会の作品&イベント感想集を御覧ください。

■上映会のまとめとコメント→最終面を御覧ください
■座談会レポートとコメント→特別付録を御覧ください
そして、作品やこの企画については・・・

■詳しくは <http://www.smt.city.sendai.jp/ift/>

2004年5月9日、雪は仙台で降る。



東北5県合同上映会座談会
青森・岩手・山形・宮城・福島

2004年5月9日(日)
せんだいメディアテーク7Fにて
入場無料

主催
協賛
後援

お問い合わせ先
TEL: 022-252-2150 (RIASFILM)
FAX: 022-252-2150 (RIASFILM)
WEB: http://www.smt.city.sendai.jp/ift/

▲イベントお申し込み。担当はAOGPさん。

INDI'ES MOVIE NEWS

インディーズフィルムシアター 年間開催スケジュール決定!

- 6/20 東北学院大学
- 7/18 仙台シネアスト
- 8/20 仙台シネアスト
- 10/17 デ・パルマ
- 11/6 仙台シネアスト
- 12/12 仙台ムービーパーティー
- 1/16 仙台シネアスト
- 2/20 リアスフィルム
- 3/6 東北学院大学

■インディーズフィルムシアターは自主制作映画上映会を行う在仙の団体や大学の映画研究会によって構成される実行委員会とsmtが共同で企画運営する上映会です。年間10回の実施を予定しています。終了したイベントのレポも掲載予定です。

■今回は7月のシネアストの上映会。TSUTAYA系列のコンテストなどで評価されている田平 衛史監督等が登場!監督も来場予定。
■12月の「ムービー〜」は、在仙大学を中心とした映像作家さん達の恒例の上映会。他、決まり次第この紙面でお知らせしてゆきたいと思っております。お楽しみに!!

■「自分の作品も上映してほしい!」という方、まだ大丈夫!詳しくは表紙アドレス又はシネアストさんに問い合わせを!

→ www.smt.city.sendai.jp/ まで!

自分で映画を作ってみたい! いろんな映画を観てみたい!
絶滅寸前の自主制作映画の情報「紙」

